

11-1 平成31年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

達成目標	自ら積極的に運動に親しみながら技能や体力を伸ばすことができる子どもを育てる。 体育の授業や休憩時間に運動がとても好きといえる児童の割合を70%以上にする。 新体力テストの総合評価のABC率を昨年度(88.2%)以上にする。
-------------	---

実態把握

学校の状況

- 交通の要所に位置し、住宅地が多い中規模校。校区は瀬野川、日の浦山などの自然に恵まれている。
- 日本人初の金メダリストの織田 幹雄（おだ・みきお）氏の出身校。

児童生徒の実態や体力・運動能力調査等から明らかになった課題

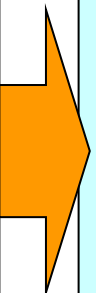
- 放課後や休日など、家庭でも運動を行う習慣をつける必要がある。
- 保護者の協力のもと生活リズムを整えていく必要がある。
- 歯磨きが習慣になっている児童は少なく、学校でも給食後の歯磨きを奨励するとともに、家庭とも連携して歯磨きの習慣をつけていきたい。
- 体育の授業力を向上させる研修を行い、体育の授業を充実させる必要がある。
- 児童自らが目標をもち、意欲的に取り組むように工夫する必要がある。
- 楽しい外運動遊びの方法を知らない児童が多いことが考えられるため、昔からある鬼遊びなど、体全体を使った運動につながる遊びを盛んに紹介し身近にする必要がある。
- 個への指導や支援のあり方について全体研修を行う必要がある。総合判定がD～Eの児童への支援が不十分であるため、D～Eの児童がCに向かうように個別の支援と指導計画を検討していく必要がある。
- 毎日こつこつと運動をする習慣をつけるように時間を確保する必要がある。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- 運動が好きな児童が多いが、陸上運動が好きな児童は他の運動に比べてやや少ない。
- 放課後や休みの日に運動している児童は増えている。
- 生活アンケートによると、1日のテレビやゲームの時間が2時間以上という児童が約3割（29.4%）いる。
- 生活アンケートによると、朝歯磨きをしている児童は34%、昼にしている児童は26%、晩にしている児童は39%であった。

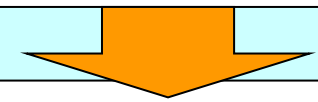
広島県体力・運動能力、運動習慣等調査結果との比較から

- 全体
運動やスポーツをほとんど毎日（週に3日以上）していると答えた児童は50.3%であった。
- 男子
「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体
A～Cの判定の児童は、88.2%と昨年度とほぼ変わらなかったが、「握力」「50m走」が県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。



取組事項

- ① 体育科での取組
 - 校内研修による体育の授業改善を行う。
 - 体力テストの結果、課題のある力を重点的に鍛えるサーキットや準備体操を行う。
 - 休憩時間や放課後にも取り組める内容を意図的に実施する。
- ② 楽しく運動するための「時間」「空間」「仲間」の保障
 - 校内体育的行事（運動会、泳力検定、完走大会、なわとび検定）を学期に1回以上実施する。
 - 運動委員会による運動イベントを実施する。
 - 体育朝会、学年学級タイム、縦割り班遊びなどで運動を奨励する。
 - 児童が運動したくなるように、遊具を整備する。
 - 年間を通した運動チャレンジカードを実施する。
- ③ 年間4回生活リズムカレンダーの実施
 - 生活リズムを整えることの重要性を体育朝会などで頻繁に呼びかける。
 - 生活リズムカレンダーの中で重点的に歯磨きの啓発を行う。
 - 1日3回の歯磨きを奨励する。
 - 生活アンケートを実施して、生活リズムの定着や保護者の意識を捉え、次の取組へ生かす。
- ④ 家庭との連携
 - 長期休業中にも運動チャレンジカードの取組を実施し、児童の運動意欲を高める。
 - 家庭で楽しくできる運動を紹介していく。
 - 体育情報誌を配布する。
 - 年間3回「体力の記録カード」を配布し、児童個人の体力の現状を伝える。



期待される効果

- 運動が好きになる児童が増える。
- 休み時間や放課後などに外遊びをする児童が増える。
- 進んで運動する児童が増え、児童の体力が増進する。

体制

- 保健主事、体育主任を中心とした「体力向上推進プロジェクト」を組織する。メンバーは、保健主事、体育主任の他、校務分掌の健康安全部員とする。（健康安全部員には低・中・高学年が所属する。）
- 月に1回、健康安全部会の時に話し合いを持つ。その他の時にも必要に応じて会議を持つ。

推進組織

11 平成31年度体力づくり推進計画 <年間指導計画>

達成目標

自ら積極的に運動に親しみながら技能や体力を伸ばすことができる子どもを育てる。
 体育の授業や休憩時間に運動がとても好きといえる児童の割合を70%以上にする。
 新体力テストの総合評価のABC率を昨年度の85%以上にする。

～3月	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
Plan	Do		Check		Action	Plan	Do	Check		Action
結果分析・計画立案	計画に基づき実施		新体力テストの実施 結果分析		見直しと改善計画の立案 計画に基づき実施	評価 見直し・次年度の計画				
【体育科・保健体育科】	平成30年度新体力テストで課題となった握力・走力を高めるセット運動									
	陸上運動系		水泳運動系		陸上運動系		器械運動系		体づくり運動系	
次年度の体力テストに向けて、課題のある種目について重点的に取り組む。	体づくり運動系		指導方法について、研修を行う。		毎時間、授業の始めに取り組み、握力・走力の向上を図る。		用具の扱い方、場の設定などの体育の授業に関する指導法の研修を行う。		指導方法について、研修を行う。	
【教科外】	各種大会に向けて強化練習を行う。									
郡サッカー	織田陸上		郡バレー		郡水泳記録会		町陸上		郡バスケット	
			水泳教室 三・六・六年		遊具の整備		陸上運動環境の整備		砂場を耕したり、ハードル走の練習の場を設定したりする。	
					陸上教室 四年		事業① 競技力向上		事業② 競技力向上	
							オリパラ事業		郡陸上	
【日常生活等】	学年学級タイム…学年または学級で運動を決め、毎週金曜日の朝休憩に行く。(縦割り班遊び…異学年のメンバーで遊ぶ時もある。)									
運動チャレンジカードの取組	ランランラン		ジャンプジャンプジャンプ							
	長縄練習		運動会		新体力テスト		完走大会		なわとび検定	
					水泳検定					
【家庭・地域との連携】	生活リズムカレンダー (GW明け)									
	生活調べ		夏休み 体育の宿題 (運動チャレンジカード)		生活リズムカレンダー (夏休み明け)		生活リズムカレンダー (ドミノ発表会前)		生活リズムカレンダー (冬休み明け)	
							冬休み 体育の宿題 (運動チャレンジカード)		生活調べ	

